

## 遠賀川水系河川整備計画の点検の概要(案)

### 1. 取組の現状

#### ○ 河川整備計画の基本理念

- 遠賀川の川づくりにあたっては地域の人々、関係機関・自治体との連携のもと、安心して安全な暮らしの確保とともに、川を必要とするすべての生きもののすみかとなるような整備を進めていく。そのような遠賀川に慣れ親しみ、ふれあうことによって地域の歴史や文化がはぐくまれ、安らぎと愛着のある遠賀川をめざして、4本の大きな柱に沿った計画を策定。

#### ○ 洪水対策

##### <ハード対策>

- 近年の洪水を踏まえ、本川中流の小竹・目尾地区の築堤、彦山川の河道掘削、犬鳴川福丸地区の築堤を実施中。
- 飯塚地区の床上事業後、さらに水系全体の治水安全度の向上を図るため、中間堰の改築を実施中。(改築後は上流に向かって治水安全度の向上を図る。)
- 越水等が発生した場合でも、決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策(危機管理型ハード対策)を新たに実施中。

##### <ソフト対策>

- 想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定を本年度に公表。
- 流域市町村と協議会を設置し、共同にて「遠賀川の減災に係る取組方針」を本年度に策定し公表。
- 小学校と連携した水防災教育および環境教育の促進。
- 避難に着目したタイムラインの作成と運用。

#### ○ 維持管理

- 老朽化したコンクリート構造物や機械設備等の更新。

## ○ 環境対策

### <水質の保全、ゴミ対策>

- 水濁協の関係機関と連携した啓発の実施。
- 水濁協の関係機関と連携した住民による一斉清掃の実施。
- 河口堰においてゴミの回収。
- 清流ルネッサンスⅡの取組のフォローアップ。

### <環境学習>

- 水辺館などにおいて子どもの環境学習の積極的な支援。
- 小学校における環境学習の積極的な支援。

### <生物の生育・生息環境の保全・創出>

- エコロジカルネットワーク事業による遡上・降下環境の再生。
- 掘削時における水際環境(エコトーン)の再生。

## 2. 河川を取り巻く情勢

- 洪水の頻発化、激甚化
- 高齢化

## 3. 河川整備に今後求められるもの

### ○ 水害リスクを考慮した河川整備

- 人的被害、社会経済被害のリスクが大きい中下流の減災対策。
- 上流の整備手法の工夫。

### ○ 大規模洪水による災害時の危機管理を考慮した河川整備

- 緊急時における堤防兼用道路の交通確保。
- 堤防決壊時の迅速かつ円滑な応急復旧。

### ○ 永続的な維持管理と適切な水防を担保する河川整備

- 全国の一割の数を占める樋門・樋管(暗渠含む)の適切な管理。
- 水防、点検・巡視、除草の効率性の向上。

### ○ 遠賀川流域全体の生態系ネットワークの回復

- 地先レベルではなく、流域全体の生態系ネットワークの回復。

## 4. 今後の方向性

### <洪水対策>

- 大規模な洪水が発生した場合でも被害を小さくするための「リスク低減型」の河川整備のあり方を検討し、必要に応じ、整備手順の見直しや整備内容の充実を図る。
- 大規模災害時の迅速な応急復旧等を考慮し、整備内容の充実を図る。
- 流域市町村と共同で設置した協議会にて一層議論を深め、「遠賀川の減災に係る取組方針」を適宜見直し、取組内容の充実を図る。

### <維持管理>

- 流下能力の向上を図る対策に加えて、適切な維持管理を永続的に担保するための「持続管理型」の河川整備を進めていく。  
(樋門・樋管の無動力化や統廃合、水防や維持管理の効率性の向上のための河川整備など)

### <環境対策>

- 遠賀川流域全体の生態系ネットワークのあり方を検討し、流域関係者と連携を図って、中・長期かつ流域全体の視点で環境対策を進めていく。